

**学生が運営する無料診療所が増加**

**―米国の医科大学**

提供元：HealthDay News 公開日2014/12/23



　米国の医科大学で、医学生が運営する無料の診療所がこの10年で倍増していることが、新たな研究により報告された。

　2005年には、米国医科大学協会（AAMC）に加入する49の医科大学に約110カ所の学生運営による無料診療所が存在した。今回の新たな研究では、このような診療所が86のAAMC加入医科大学に200カ所以上あることがわかった。

　米カリフォルニア大学サンディエゴ校（UCSD）のSunny Smith氏によると、全医学生の半数以上がこのような無料診療所に参加していることがわかった。しかし、約半数の医科大学では診療所への参加に対して学生に履修単位を与えていないという。

　診療所で提供されるサービスは、成人の外来診療、健康管理、慢性疾患管理、通訳、社会福祉などが多かった。診療所で最もよく治療される疾患の種類は、糖尿病および高血圧であった。医学生らによると、診療所における最も大きな課題は、学部指導者が少なすぎることと、財源の不足であるという。

　今回の研究は12月10日発行の「JAMA」医学教育特集号に掲載された。

　Smith氏らは、「多くの機関で履修単位を与えていないにもかかわらず、ほとんどの医学生が自主的にこのような場に参加している。未来の医師を教育する場で（このような診療所が）広く存在するという状況を考えれば、その教育面および臨床面の成果を評価する研究を実施していく必要がある」と述べている。

　「（診療所の）最も大きな課題とされる財源および学部指導者の不足については、今後、各機関のサポートによりこのような教育機会の安定と向上が図られると考えられるため、すぐに対処可能だ」と著者らは結論付けている。

[2014年12月9日/HealthDayNews]Copyright (c) 2014 HealthDay. All rights reserved.

**原著論文はこちら**

[Smith S, et al. JAMA. 2014;312:2407-2410.](http://pmc.carenet.com/?pmid=25490333)